

議事録

件名	第25回学校安全対策委員会
日程	令和2年5月18日（月）～令和2年5月29日（金）
参加者	宮路委員長、広津副委員長、古賀委員、馬場園委員、原委員、綾部委員、田中委員、富吉委員、井上委員、福永委員、川上委員、今村委員、淵上委員、江頭委員
次第	<p>1. 報告事項(1)令和2年度の主なスケジュール</p> <p>2. 協議事項(1)平成31年度取り組み実績及び令和2年度取り組み方針（案）について (2)セーフコミュニティ実態調査について (3)セーフコミュニティ活動推進事業所連携事業（仮称）について</p> <p>3. その他</p>
意見	<p>1. 報告事項 (1)令和2年度の主なスケジュール 意見なし</p> <p>2. 協議事項 (1)平成31年度取り組み実績及び令和2年度取り組み方針（案）について</p>
委員①	<p>・コロナにより子どもたちの中で差別・人権侵害が起きないかとても気になる。3-③を大切にしていきたい。学校との連携を強めていきたい。</p>
事務局	<p>→学校の再開に合わせて、市教育委員会では人権教育に活用するリーフレットを作成し、学校へ配付しました。今後も、3-③の取組と並行して、人権同和教育の推進に努めてまいります。</p>
委員②	<p>・いじめの認知件数の多さに驚いた。小中の単位PTAでも情報を共有したい。</p>
事務局	<p>→いじめについては、いじめが深刻化する前に対策を打つ必要性から、国が積極的な認知を勧めています。そのため、一見軽微に思われる事案であっても当該の児童生徒にとってもは深刻である場合もあることから、学校は積極的にいじめとして認知し、対応するよう努めています。今後も、いじめの認知件数を上げると同時に、認知したいじめの解消率を上げていくことができるよう努めていきます。</p>
委員③	<p>・3-①は「校舎内で安全に過ごす」となっているが、校舎内外の取組を統合するのであれば「学校内で安全に過ごす」とすること。</p>
事務局	<p>→ご意見のとおり変更させていただきます。</p>
委員④	<p>(2)セーフコミュニティ実態調査について ・実施にあたっては、回答しやすい書式（フォーム）を採用し、回収率の向上をお願いします。</p>
委員①	<p>・市民意識調査等による実態調査は大切。学校は意識が高いが、市民の中に伝わっていくことが大切。調査は年次ごとにしていけると意識の広がりにつながると思う。</p>
委員①	<p>(3)セーフコミュニティ活動推進事業所連携事業（仮称）について ・「セーフコミュニティ」の認知が広がっていないため、市民への周知は大切。何らかの形で周知を図ることに賛成。</p>
委員⑤	<p>3. その他 ・通常の生活の中で子供たちに関わり些細な言動・行動に関心をもつことが大切</p>

委員⑤	・地域の協力団体（者）との意思の疎通の為、各校区で代表者会を開催し、より強固な結びつきが必要
委員⑥	・自転車保険加入の促進、登下校時の交通安全立ち番、夕方3時頃のこども安全パトロール、小中学校との連携等に努めていきたい。
事務局	→自転車については県の条例改正を受けて、令和2年10月から保険の加入が義務付けられることとなります。各学校を通して、児童生徒や保護者への周知に努めてまいります。
委員④	・新校舎建設に際しては、デザイン性だけでなく、使う側（児童生徒、職員、保護者等）の意見や要望を聞くことで、より安心・安全な設計になるようお願いします。
事務局	→貴重なご意見として、学校施設課にもお伝えさせていただきます。
委員①	・コロナの関係で子供たちの生活が不安定になっていると思うので、様々な面での配慮が必要だと考える。
事務局	→児童生徒の健康面はもとより、児童生徒や保護者の不安や動揺についても丁寧に対応するよう、学校に対して指導しています。今後も、学校や児童生徒・保護者の実態に応じた丁寧な対応に努めてまいります。